

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 中山道を活用した周遊滞在促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 観光資源活用課 観光コンテンツ係

電話番号：058-272-1111(内3932)

E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,000千円 (前年度予算額： 6,494千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 財 源
前年度	6,494	3,152	0	0	0	0	0	0	3,342
要求額	6,000	3,000	0	0	0	0	0	0	3,000
決定額	6,000	3,000	0	0	0	0	0	0	3,000

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

中山道馬籠宿一妻籠宿間の中山道は、国内外問わず観光客から人気の観光地となっている一方で、馬籠宿以西の中山道については、史跡や往時の姿を残す道が存在しているにも関わらず、来訪者が少ない。

しかし、馬籠宿以西の魅力を知ったアドベンチャーツーリズム専門旅行業者によるウォーキングツアーアイテムの販売等により、同所を訪れる観光客は増えつつある。

リニア中央新幹線岐阜県駅が沿線に整備されることから、日本の古の本物を求める観光客に訴求できる史跡が残る中山道を、令和7年度に実施した調査の結果に基づき必要な施策を順次実施していく必要がある。

(2) 事業内容

① 稼げる観光地づくり

- ・東美濃中山道エリアならではの「わざわざ行きたくなる」着地型体験コンテンツを関係市町とも連携して発掘し、商品化に向けた調整を行うとともに、コンテンツのブラッシュアップのため、旅行会社・DMC・地元ガイド、一般モニター等を招いた視察会を実施。

② 受入環境整備

- ・東美濃中山道が有するアクセスの問題を解決するための一つの手段として、宿場町間バス運行の実証実験を実施する。

③ 認知度向上

- ・①で造成した着地型コンテンツのOTAでの販売調整やSNS等での広告配信を行い、体験コンテンツの販売PRに併せ、魅力を発信する。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県内の中山道は美濃地域を横断しており、また、リニア開業による影響を受ける地域は県下広域にわたるため、県負担により実施することが妥当。

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	42	プロポーザル評価会議構成員
委託料	5,958	体験コンテンツ発掘・整備、バス運行の実証、プロモーション
合計	6,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (2) 次世代を見据えた産業の振興
 - (4) 世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり
- ・岐阜県経済・雇用再生戦略
 - 6 世界に選ばれる持続可能な観光地域づくりプロジェクト
 - (1) 地域資源の保全・活用による観光地域づくり
 - (5) ターゲット層のニーズに合わせた魅力発信
- ・第2次 岐阜県リニア中央新幹線活用戦略
 - IV 重点的に展開する施策
 - 1 観光振興・まちづくり戦略
 - (2) 東美濃地域内の観光資源の更なる掘り起こし、磨き上げ
 - (3) 東美濃地域からの広域周遊観光の創出

(2) 国・他県の状況

国の観光立国推進基本計画において、地方部における魅力的なコンテンツ創出、高付加価値旅行者の方誘致等により、地方部における滞在日数を増加させること、及びアドベンチャーツーリズムの推進が提示されている。

また、中山道が繋がる長野県の総合計画においても、特色ある観光資源やその歴史・風土等のストーリーの活用・創出等により、「稼ぐ」観光地域づくりを推進することとされている。

(3) 後年度の財政負担

リニア中央新幹線開業を見据え、県内の周遊滞在型観光に資する地域資源の発掘や磨き上げ等の取組を推進する必要があるため継続する。

(4) 事業主体及びその妥当性

美濃地域を横断する中山道を活用した観光振興により県下広域へ事業効果が波及し、また、リニア開業による影響を受ける地域は県下広域にわたるため、県が実施することが妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「東美濃歴史街道」エリアを中心に、観光入込客、宿泊客を増やし、観光消費額の増大を図り、リニア開業を見据えた岐阜県観光の定番コンテンツ化を図る。

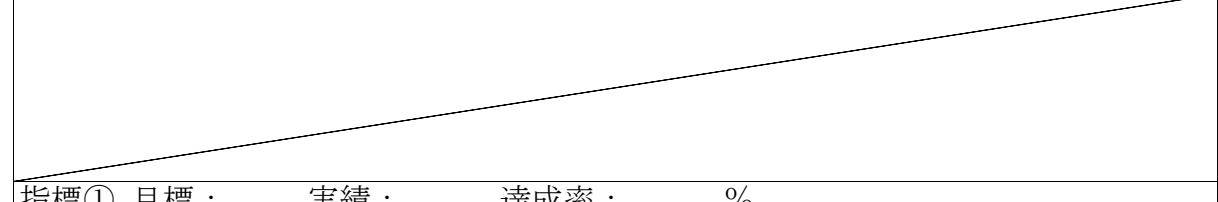
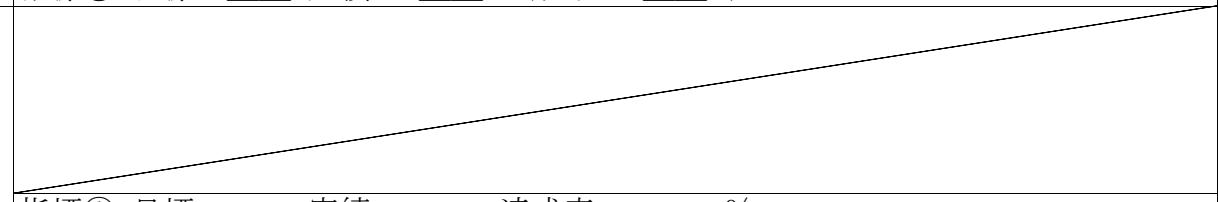
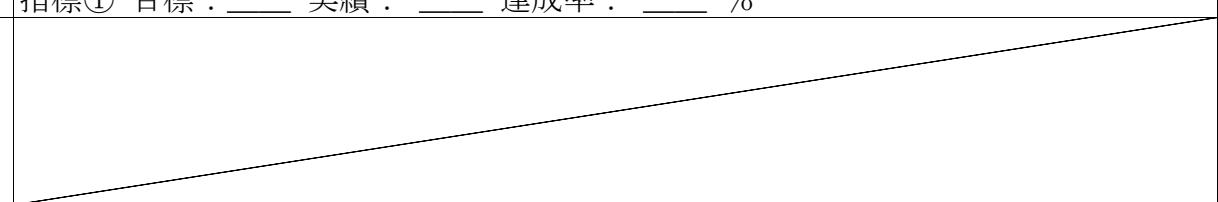
- 東美濃中山道のブランド力強化
- 継続的な誘客のための受け入れ環境整備
- 高付加価値旅行商品販売による稼げる地域づくり

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		4, 013億円	3, 300億円	3, 450億円	3, 600億円	111. 5%
②観光入込客数 (実数)		4, 470万人	4, 900万人	5, 100万人	5, 300万人	84. 3%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年 度	 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 5 年 度	 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 6 年 度	 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	リニア中央新幹線開業を見据え、岐阜県駅周辺を中心に、本県の魅力ある観光資源の認知向上、ブランド力強化を図り、稼げる地域づくりを推進する必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている
(評価) 1	東美濃中山道沿線市町の協力を得て事業を実施している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

稼げる地域づくりを推進するため、関係機関・事業者との連携体制を構築する必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
リニア中央新幹線開業を見据えた、継続的な事業実施が必要。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	東美濃歴史街道観光推進事業費【観光資源活用課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	中山道のみならず、リニア岐阜県駅を中心とした、県内周遊滞在観光の推進を図る。